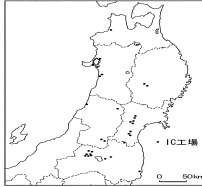
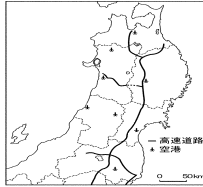


- 1 単元名 世界の諸地域 (北アメリカ州)  
2 単元指導計画

観点	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象に関する知識・理解	
目標 (育てたい生徒の力)	世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	世界の諸地域の地域的特色を、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	世界の諸地域の地域的特色に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	世界の諸地域について、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニアの各州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	
生徒の実態	レディネステスト (調査日 平成〇年〇月〇日, 調査人数〇人)		地図Ⅰ 東北地方のIC工場の分布図	地図Ⅱ 東北地方の交通	
男〇人 女〇人 計〇人	<p>地図Ⅰ・Ⅱをみて、東北地方のIC工場の分布と東北地方の交通には、どのような関係が読み取れるか答えなさい。</p> <p>地図Ⅰ・Ⅱを重ねて関連付け、2つの地理的事象の関係性を説明できた生徒は〇人であった。このことから、地理的事象の背景や要因を予想し、2つの地理的事象を関連付けて説明できる生徒と2つの地理的事象間の関係性をとらえることができない生徒との間に差があることが分かる。</p>				
指導観	<p>生徒の実態を踏まえ、産業を中核として北アメリカ州の地域的特色を理解する単元において、全域の視点から、その地域の複数の地理的事象を関連付けて、「その事象がなぜそこに、そのように分布し、そのように見られるのか。」を追究する全域・関連コースと基域の視点から、他の地域の地理的事象と比較しながら、「その事象は、そこでしか見られないのか、他の地域では見られないのか。」を追究する基域・比較コースにわたっての少人数指導を実施する。全域・関連コースでは、地理的な見方や考え方の定着を図り、調べようとしている地域を一つのみと取りとらえ、全体としてどのような特色があるかという視点で地域的特色を追究する。そのために、TPシートで作成した地形・気候(気候帯、気温、降水量)・人口密度などの関連付けシートを活用する。透明なため、複数枚重ね合わせられ、他の地理的事象との相関性や関連性が視覚的に考えられるという利点がある。この関連付けシートを追究したい地理的事象の主題図に重ねて、「なぜそのように分布しているのだろう。」を考えられるようにしたい。基域・比較コースでは、地理的な見方や考え方の一般化を図り、他の地域と比べて、特にその地域で目立つものに注目して、地域的特色を追究する。そのために、まず、ジグソーグループの中で、教師があらかじめ用意した複数の学習課題を分担させる。次に、課題別グループにおいて、他の地域の地理的事象と比較しながら、北アメリカ州の地理的事象の地方的特殊性と一般の共通性を追究する。そして、ジグソーグループにおいて、課題別グループで追究した特色を伝え合いながら、地域的特色を明確にしていきたい。このことにより、地理的な見方や考え方の基礎を培うことに迫ることができ、県学校教育指導方針「社会」の努力事項「2調べ、考え、表現し、活用する社会科学学習の推進」の具現化が図れるものとする。</p>				
指導計画 (22時間 取り扱い)	<p>第1次 アジア州</p> <p>第2次 ヨーロッパ州</p> <p>第3次 アフリカ州</p> <p>第4次 北アメリカ州</p>		-----	4時間	
	<p>(共通課題)</p> <p>大規模な農業と工業が発展している北アメリカ州は、どのような特色がある地域なのだろう。</p>				
	<p>[全域・関連コース]</p> <p>第1時 地理情報から地理的事象を見だし、追究する課題を設定する</p>				
	<p>(課題) 北アメリカ州の農業や工業の分布には何が関係しているのだろう。</p>				
	<p>第2時 課題に関する背景や要因を予想し、必要な資料を検討する</p> <p>第3時 複数の地理的事象と関連付けて、課題を追究する (農業を中核として)</p> <p>第4時 複数の地理的事象と関連付けて、課題を追究する (工業を中核として)</p> <p>第5時 地域の特色をまとめる</p>		-----	(本時)	
	<p>[基域・比較コース]</p> <p>第1時 地理情報から地理的事象を見だし、追究する課題を設定する</p>				
	<p>(課題) 北アメリカ州の農業や工業について日本と比較しながら考えよう。</p>				
	<p>第2時 課題に関する背景や要因を予想し、必要な資料を検討する</p> <p>第3時 他の地域の地理的事象と比較して、課題を追究する (農業を中核として)</p> <p>第4時 他の地域の地理的事象と比較して、課題を追究する (工業を中核として)</p> <p>第5時 地域の特色をまとめる</p>		-----	(本時)	
	<p>第5次 南アメリカ州</p> <p>第6次 オセアニア州</p>		-----	3時間	
			-----	3時間	
評価の観点 (第4次) ◎は重点	第1時	◎北アメリカ州に暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に、世界の諸地域の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	◎見いだした地理的事象から適切な課題を設定している。	◎北アメリカに関する様々な資料を収集し、地理的事象を見いだしている。	◎北アメリカ州について、そこに暮らす人々の生活の様子を的確に把握できる主題を基に地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。
	第2時			◎収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。	
	第3時 (45分)		[全域・関連コース] ◎同地域の複数の地理的事象を関連付けて、課題を追究している。 [基域・比較コース] ◎他の地域の地理的事象と比較して、課題を追究している。		
	第4時			◎適切に選択した情報を基に、北アメリカ州の地域的特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。	
	第5時				

3 本時の指導

[全域・関連コース]

- (1) 目標 同地域の複数の地理的事象を関連付けて、課題を追究することができる。
- (2) 準備・資料 教科書、地図帳、資料集、ワークシート、関連付けシート、パソコン、実物投影機、プロジェクター
- (3) 展開

	学習活動・内容	教師の支援・評価 (※は評価)
5分	1 本時の学習の内容を確認する。 同地域の複数の地理的事象を関連付けて、課題を追究しよう。	・ジーンズの写真を提示し、北アメリカ州で、好んではかれている理由や原料についてを話し合う。
15分	2 予想した背景や要因を確認する。 (課題) 北アメリカ州の農業の分布には何が関係しているのだろう。 (地理的な考え方を身に付けさせるための課題) (予想) ・土地の広いところで農業が盛んなのではないか。 ・郊外に農村が広がっているのではないか。 ・消費地に近いところで盛んなのではないか。など	・前時で予想した背景や要因を発表する。 ・前時に作成したアメリカの農業の主題図で、「どこに、何が、どのように広がっているか」(地理的な見方)を確認する。 ・グループを作り、話し合い活動を通して、「なぜそのように分布しているのか」を追究するよう指示する。
25分	3 予想した背景や要因を考察する。 (1) 予想を考察するために必要な資料を考える。 (2) 他の地理的事象と関連付ける。 ア 自然環境                      ・地形                      ・気候(気温、降水量) イ 人々の生活                    ・人口密度 ウ 産業                              ・工業地帯 エ 他地域との結びつき        ・観光地                      など (関連づけシートの例)  (地形) ロッキー山脈やミシシッピ川 周辺の大平原と関連づけできる ようにする。 (気候) 北部から南部へ冷帯→温帯 →亜熱帯と変化する気候や降 水量、気温と関連づけられる ようにする。 (人口密度) 東海岸や五大湖周辺の大都市 と関連付けられるようにする。	(追究する地理的事象) ・小麦    ・綿花    ・酪農    ・とうもろこし    ・放牧 ・関連付けシートを各班に配付し、考える参考となるよう支援する。 ・関連付けシートを一枚ずつ重ね合わせたり、数枚を同時に重ね合わせたりしたことによって、農畜産業の分布と他の地理的事象との関わりを考えさせる。 ・一つの資料と関連付けができたなら、他の資料とは関連がないかを考えるよう指示する。 ・自分のことばで表現してよいことを助言する。 ・追究の手順や方法にとまどっているグループや生徒には、生活経験や既習の知識を生かして関連付けられるように助言する。 ・生徒の発表を整理し板書することで、一人一人の発表をつなげ、考えを深めるための手がかりとする。 ・取り組みに自信をもたせるために、発表できた生徒を賞賛する。
5分	4 本時の学習を振り返るとともに、次時の学習内容を知る。 (1) 自分の学習の状況を確認する。 (2) 次時の学習の内容を知る。	※ 同地域の複数の地理的事象を関連付けて、課題を追究している。(発表・ワークシート)  ・本時のまとめをするとともに、次時の学習への意欲付けを行う。

[基域・比較コース]

- (1) 目標 他地域の地理的事象と比較して、課題を追究することができる。
- (2) 準備・資料 教科書、資料集、地図帳、ワークシート、パソコン、プロジェクター
- (3) 展開

	学習活動・内容	教師の支援・評価 (※は評価)
5分	1 本時の学習の内容を確認する。 他地域の地理的事象と比較して、課題を追究しよう。	・アメリカ合衆国と日本のコンバインの大きさを比較できる写真を提示し、北アメリカ州の農場の巨大さを感じ取れるようにする。
40分	2 課題を追究する。 (課題) 北アメリカ州の農業について日本と比較しながら考えよう。 (1) ジグソーグループごとに活動する。 ① 様々な資料から、北アメリカ州の農業に関する地理的事象を見いだす。 ② 追究する課題を知り分担する。 (追究する課題) ・日本も同緯度で同じ農畜産物が栽培されているのだろうか ・日本の都市部も酪農が盛んなのだろうか。 ・日本も北アメリカ州と同じ農業経営を行っているのだろうか ・日本はどのぐらい北アメリカ州から農畜産物を輸入しているのだろうか (2) 課題別グループで追究活動を行う。 ① 課題に関する背景や要因を予想し、地理情報を収集する。 ② 日本と比較しながら、北アメリカ州の農業の特色を話し合う。 (3) ジグソーグループごとに話し合う。 ① 課題別グループでの追究した北アメリカ州の農業の特色を伝え合う。 ② 農業から見た北アメリカ州の地域的特色について話し合う。	・視点や方法を明確にするため、我が国の地理的事象と比較し、一般的共通性や地域的特殊性を考えられるようにする。 ・ジグソーグループを作り、話し合い活動を通して、課題を追究するよう指示する。 ・耕地面積、景観写真、農畜産物の生産量や輸出量、農業地域の主題図などから北アメリカ州の農業に関する地理的事象を見いだせるようにする。 ・考察に必要な適切な地理的資料を選べるよう助言する。 ・活動の流れや方法にそってシュミレーションできるワークシートを配付し、取り組ませる。 ・具体的な例を示しながら、一般的共通性や地域的特殊性を考えるよう助言する。 ・ワークシートの記入に戸惑っている生徒には、自分のことばで表現してよいことを助言する。 ・追究の手順や方法がわからなくなってしまったグループや生徒には、個別に助言する。
5分	3 本時の学習を振り返るとともに、次時の学習内容を知る。 (1) 自分の学習の状況を確認する。 (2) 次時の学習の内容を知る	※ 他地域の地理的事象と比較して、課題を追究している。(発表・ワークシート)  ・本時のまとめをするとともに、次時の学習への意欲付けを行う。